

庁議の概要

開催日 平成27年2月9日（月）

◎項 目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内 容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○宿毛市長期浸水対策検討会について

（危機管理部）

宿毛市で南海トラフ地震による長期浸水対策を検討しており、主に止水・排水と住民避難について検討している。国、県、市とともに県警、消防も入って検討している。

今週金曜日（2月13日）に第3回目の検討会を行う。これまで主に止水・排水についての検討を行ってきたが、今回は住民の避難対策について検討する予定である。浸水区域は昼間約9,200人の人口があるが、そのうち取り残されると想定されるのは大体6,000人と想定されている。ただし、比較的浸水深が浅いため、（潮の干満の関係で）1日3時間水の引く区域については、歩いて逃げられるだろうと考えており、そうなると中心市街地はほぼ歩いて逃げられるようになってくる。どうしても逃げられないところも残る。今回、市中心部の水が引いて歩いて逃げられる方や、どうしても残される方の救助方法などについて検討を行い、年度内には対策を取りまとめたいと考えている。

○全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐について

（文化生活部）

チラシを配布しているように「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」が2月21日・22日の2日間開催される。20名以上の著名な漫画家の方々が高知へ集まってくるという、全国でも珍しい力を入れた取り組みとなっており、今関係機関を中心に事業の浸透に向けて追い込みをしている。庁内でも改めて各課を回らせてもらうので、協力をお願いします。

（知事）

この「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」は、漫画界の皆さんと高知県との強固なネットワークをつくっていききたいと考え、漫画家の先生方に高知に集結していただくものである。大手出版社を含め漫画界では非常に注目をいただいております、今後の高知県の情報発信のよいきっかけとなると思う。

今多くのテレビドラマの原作が漫画であるなど、漫画が日本のコンテンツ界に占めるウエイトがすごく高まっている。漫画家の皆さんに高知のことを好きになってもらう。

そのことを通じて作品の中で高知が取り上げられる、ドラマで高知が取り上げられる、映画で高知が取り上げられるといった展開が考えられる。この全国漫画家大会議において、漫画界の皆さんと交流を深め、漫画界にたくさんの高知県ファンをつくるというのもこの会議の大きな目的である。多くの大御所の先生方に来ていただくようになっており、今後漫画コンテンツを元とした多様な情報発信ということの淵源となるだろう会議になると考えている。皆さん自身も参加いただくとともに、関係の団体の皆さんなど、いろんな方々にご協力を仰いでいただきたい。